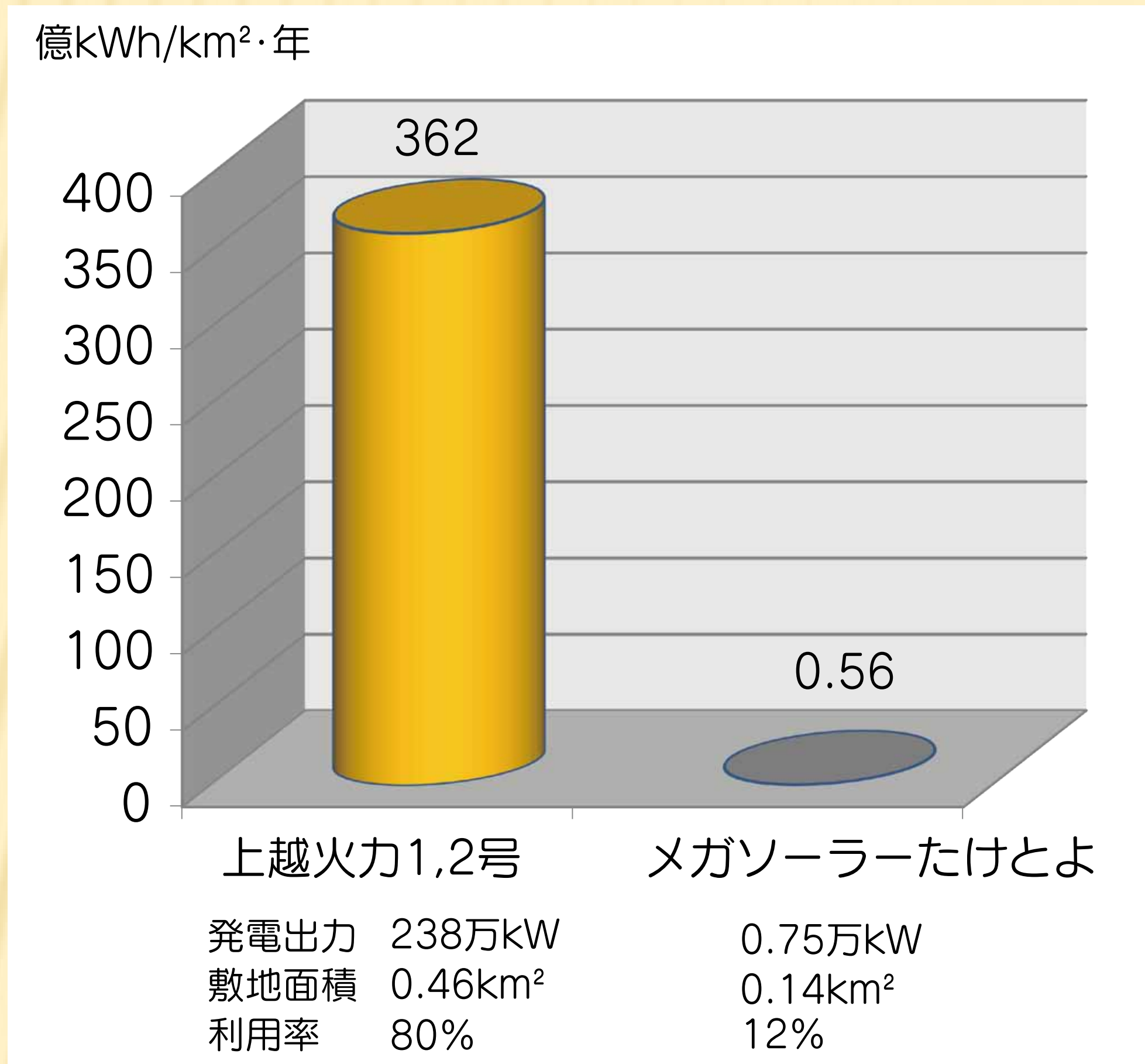


火力発電の特徴

●発電電力量の比較



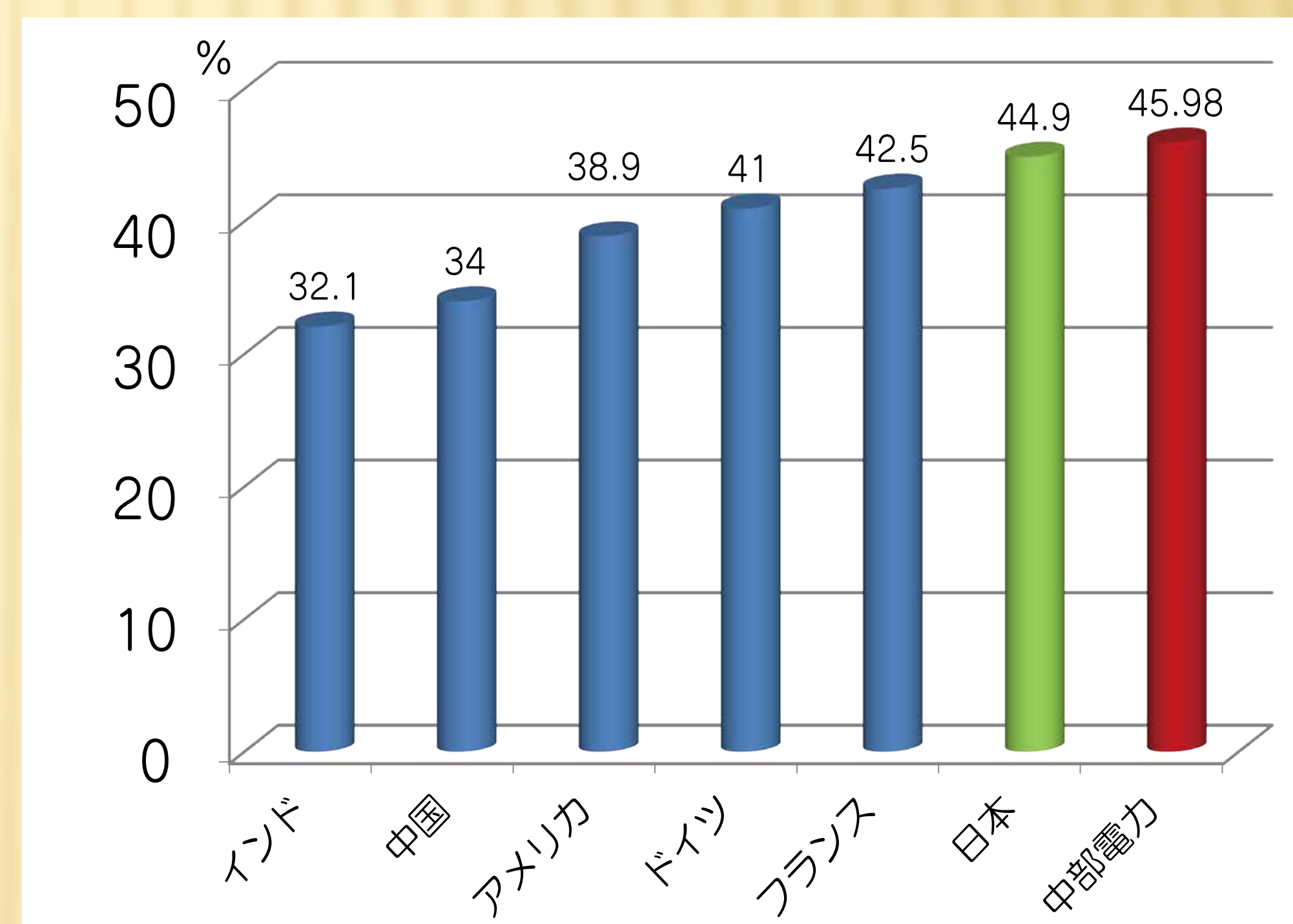
出典：中部電力HP

安定して大きな電力の供給が可能です。

太陽光発電や風力発電は、気象の影響を大きく受けます。一方、火力発電は24時間365日を通じて、安定した電力の供給が可能です。(定期点検などを考慮すると利用率は80%程になります)

敷地面積は発電所全体。利用率は電力の需要や設備の運用によって毎年異なります。
 発電電力量 = 発電出力 × 利用率 ÷ 敷地面積 実際の発電電力量とは異なります。

●火力発電総合熱効率

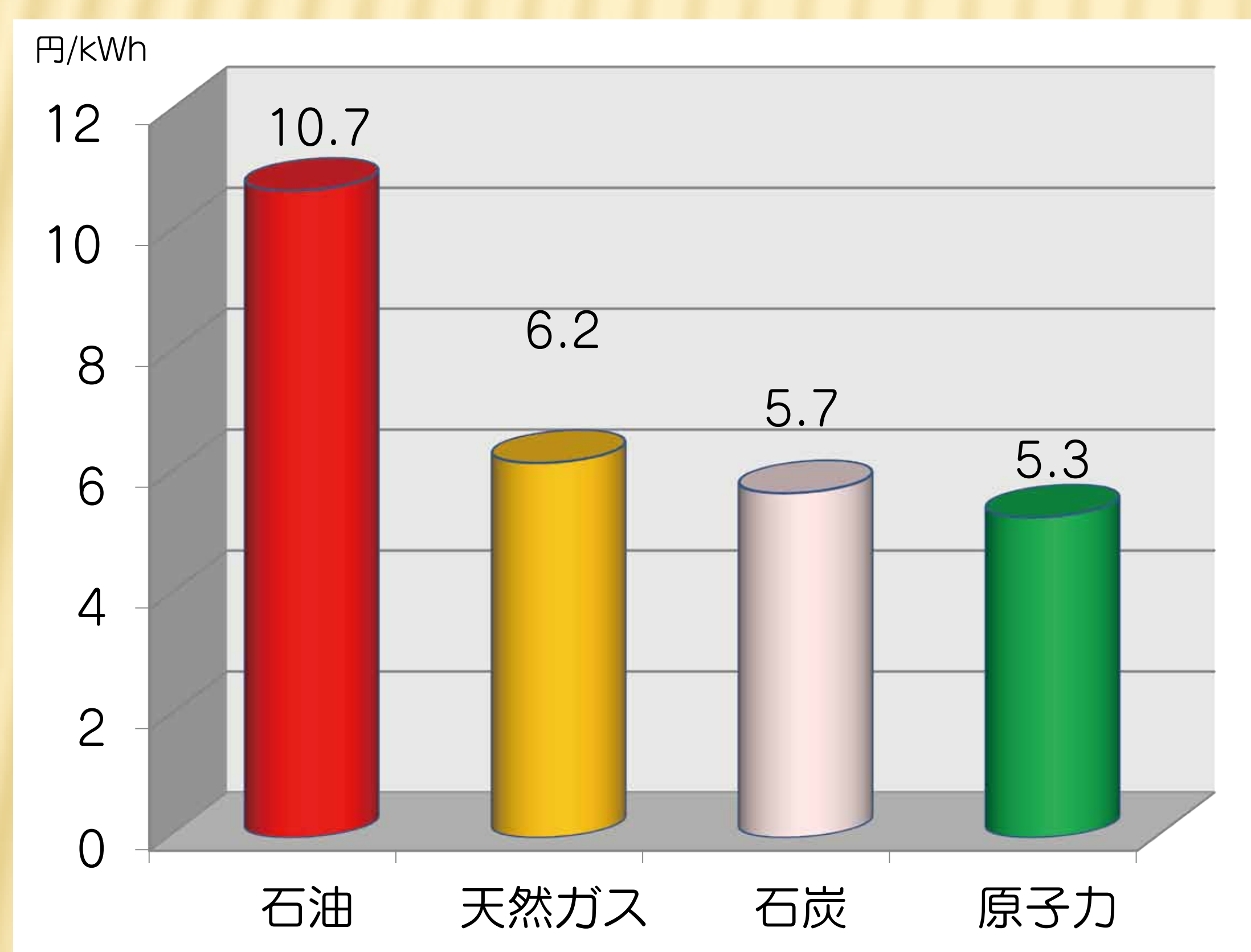


出典：電気事業連合会資料
 中部電力は2011年度、日本は2010年度 他は2007年度の数値

発電効率は世界最高水準です。

中部電力では、火力発電所における総合熱効率向上のため、高効率コンバインドサイクル発電プラントの高稼働運転や定期点検期間の短縮などに取り組んでいます。

●発電コストの比較

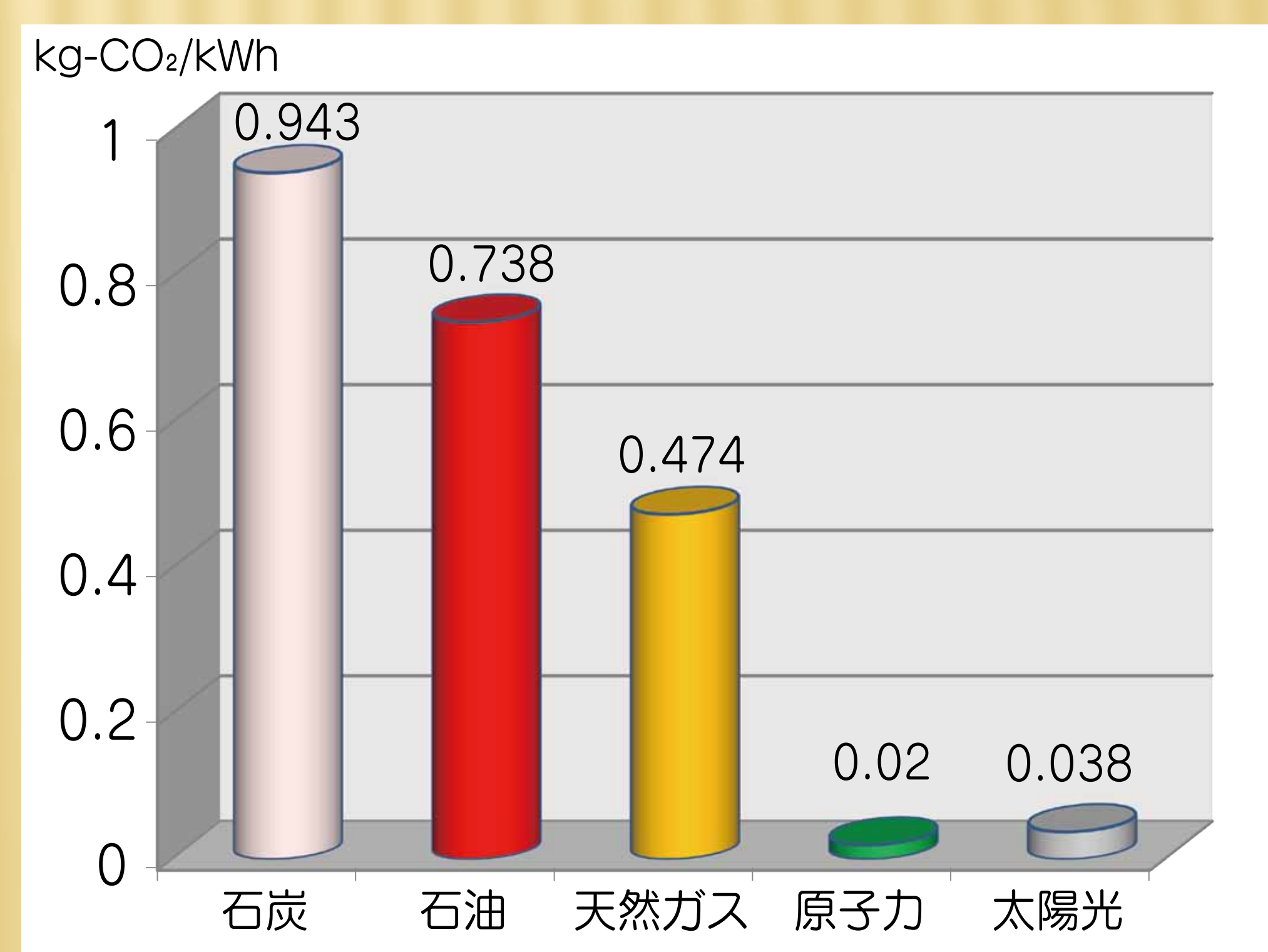


出典：電気事業分科会コスト等検討小委員会資料 (2004/1)

発電コストは 石油 >> 天然ガス > 石炭です。

浜岡原子力発電所停止後、電力を確保するため、2011年7月に休止していた武豊火力発電所2号機（石油火力）を復旧しました。

●CO₂排出量の比較



出典：電力中央研究所報告書 (2010/7)

CO₂の排出量が課題です。

2011年度は東日本大震災による東電福島原子力発電所事故の影響から、政府の要請により浜岡原子力発電所を停止しました。このため火力発電所の稼働率が高まり、CO₂の排出量は2010年度と比較して34%増加しました。